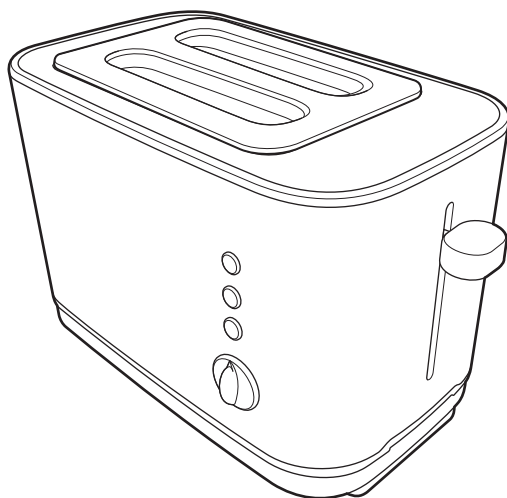


フタ付ポップアップトースター DPT-1502

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意 P. 2～3
各部の名称とはたらき P. 4
正しい使いかた P. 5～6
お手入れと保存 P. 6～7
修理・サービスを依頼する前に P. 7
アフターサービスについて 裏表紙
保証書 裏表紙



仕 様

品 名	フタ付ポップアップトースター
型 名	DPT-1502
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	950 W
安全装置	温度ヒューズ (216 °C)
トースト枚数	2 枚 (4 枚切～8 枚切)
焼き色調節	7 段階
電源コード長さ	約 1.2 m
外形寸法	約 幅 30.5 × 奥行き 17 × 高さ 19 cm (フタを含む)
質 量	約 1.7 kg (フタを含む)



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)




図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。		異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		定格15A以上のコンセントを単独で使う。 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けがややけど、感電の原因になります。	必ず必ず受けトレイを取り付けて使用する。 取り付けないで使用すると、火災の原因になります。	
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電や異常運転してけがの原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	業務用として使用しない。調理以外に使用しない。 本製品は家庭用・調理用として設計・製造されています。業務用としての使用、調理以外の使用は、絶対しないでください。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けがや火災の原因になることがあります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙をご参照ください）にご相談ください。
内部に物や指を差し込まない。 火災や感電の原因になります。	 ぬれ手禁止		ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
カーテンなどの可燃物の近くで使わない。 火災の原因になります。	 指示	 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。			

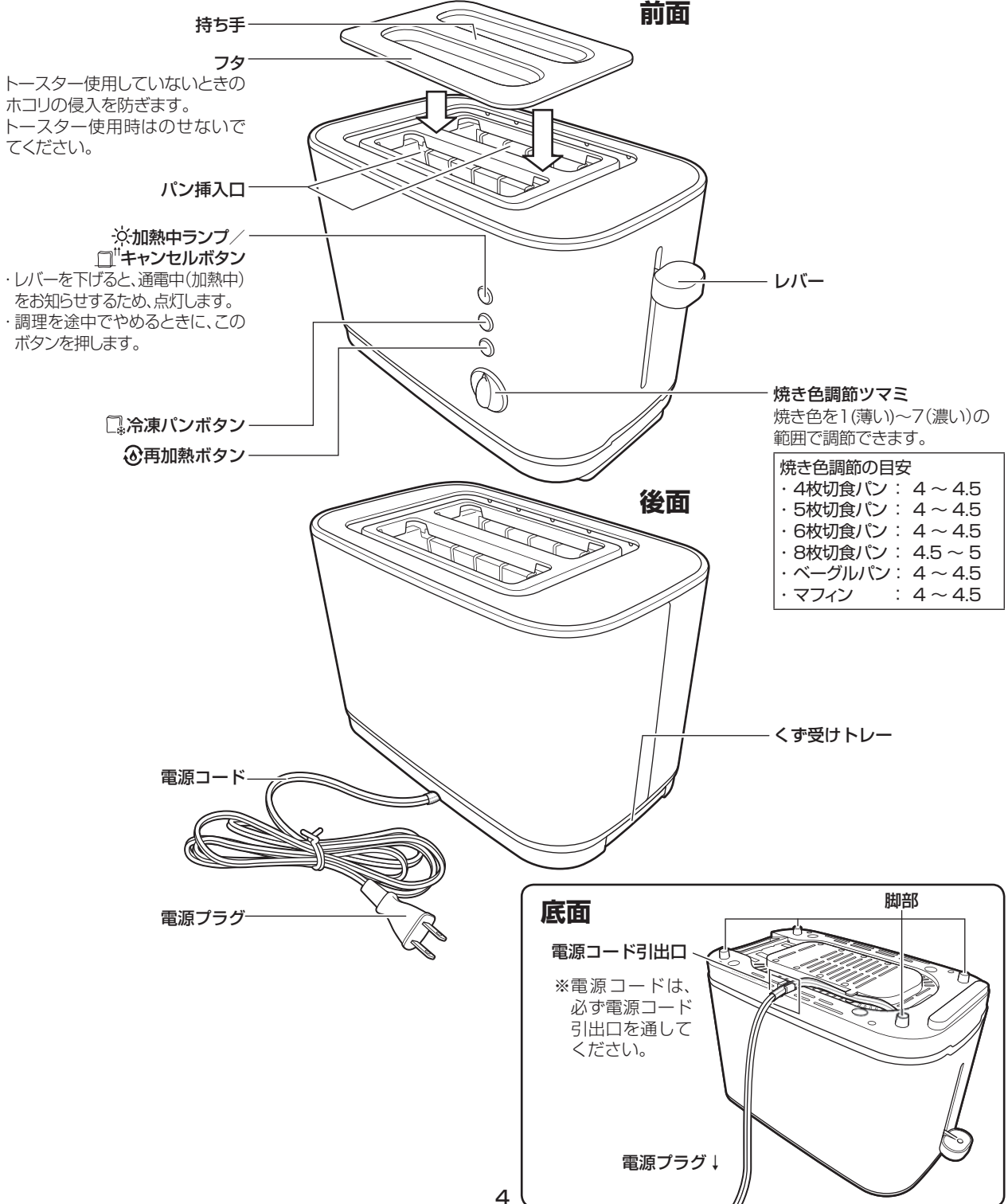
⚠ 注意

 指示	<p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。</p>	 禁止	<p>使用中は本体から離れない。 パンが発火して、火災の原因になることがあります。</p>
	<p>お手入れは本体が冷めてから行なう。 やけどの原因になります。</p>		<p>パンを焼く以外の目的に使わない。 火災の原因になることがあります。</p>
	<p>パンが発煙・発火したときは、キャンセルボタンを押し、電源プラグを抜く。 火災の原因になることがあります。</p>		<p>指定寸法以外のパンや変形したパンを焼かない。 発火や異常動作の原因になることがあります。</p>
	<p>パンくずが残らないよう、こまめにお手入れする。 火災の原因になることがあります。</p>		<p>必要以上に加熱しない。 パンが発火して、火災の原因になることがあります。</p>
	<p>フタは本体が完全に冷めてからのせる。 やけどや変形の原因になることがあります。</p>		<p>使用中や使用後しばらくは、金属部に触れない。 やけどの原因になることがあります。</p>
 禁止	<p>壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になることがあります。</p>	<p>使用中はフタをのせない。 故障や変形、火災の原因になることがあります。</p>	
	<p>バターやジャムなどを塗ったパンを焼かない。 パンが発火して、火災の原因になることがあります。</p>	<p>フタをのせた状態でレバーを絶対に下げない。 誤って加熱し、発煙や故障の原因になります。</p>	

各部の名称とはたらき

⚠️ 注意

- ・フタをのせた状態でレバーを絶対に下げない。誤って加熱し、発煙や故障の原因になります。
- ・使用中はフタをのせない。故障や変形、火災の原因になることがあります。
- ・フタは本体が完全に冷めてからのせる。やけどや変形の原因になることがあります。
- ・フタをはずして置くときは、調理マットなどの上に置く。机や家具を傷つける原因になることがあります。



正しい使いかた

使用前の準備

1. 電源コードを正しく取り出す

電源コードは電源コード引出口から引き出し、脚にはさまないように注意してください。

2. 本体を正しく設置する

- 安定した水平な場所に設置してください。
- 近くに可燃物がないことを確認し、可燃物がある場合は移動してからご使用ください。
- 電源コードは必ず電源コード引出口を通し、底面にはさまないように注意してください。

3. フタを取りはずす

パンを焼く

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込んでいない状態では、レバーを下げて固定できませんが、故障ではありません。

2. 焼き色調節つまみをお好みの焼き色に合わせる

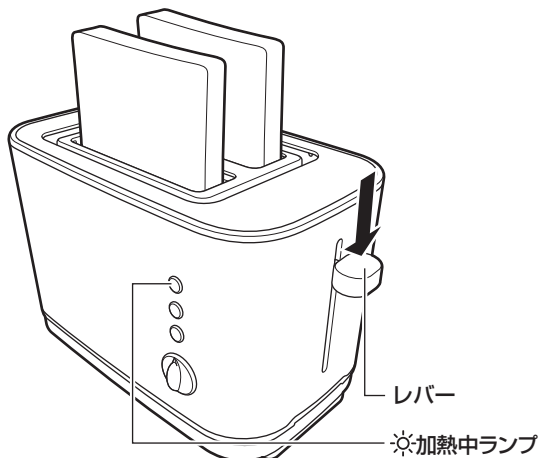
焼き色は焼き色調節つまみで調節することにより 1(薄い)～7(濃い)の範囲で調節できます(「焼き色調節の目安」4ページ)。

※焼き色をはっきり出したいときは、焼き色調節つまみを4以上に設定してください。

3. パンを入れてレバーを下げる

パンは、パン挿入口に長い方をたてにして、1枚ずつパン挿入口に入れます。

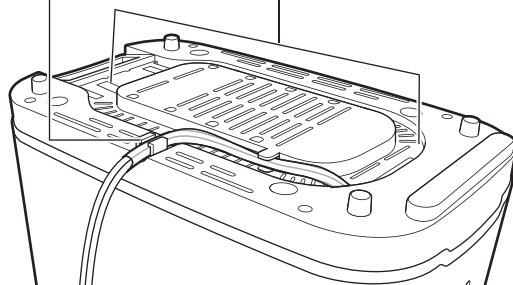
レバーを下げて調理が開始されると、※加熱中ランプが点灯します。



※はじめてご使用になる時は、においや煙がでることがありますが故障ではありません。

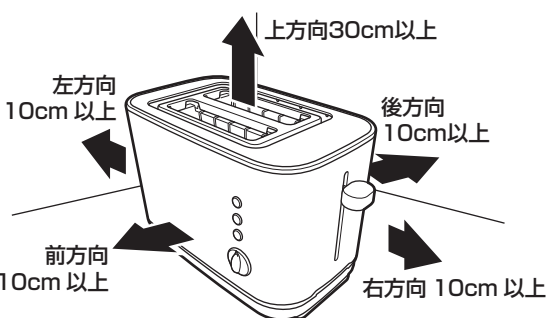
必ず電源コード引出口を通す

電源コードを残さない



本体は壁や周囲から適当な距離を保ってください

本体は図のように設置してください。



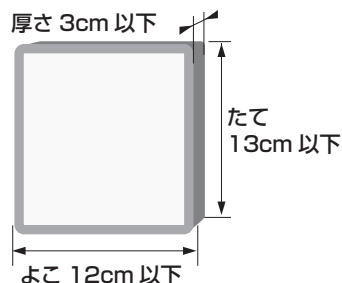
次のような場所では使用しないでください。

- カーテンや壁、家具など、可燃物の近く。
- 熱に弱い敷物の上。

焼けるパンの大きさと厚さの目安

本機で焼けるパンの大きさは下図の寸法以下で厚さは4枚切りまでが目安です。これより大きいパンは焼かないでください。

※パンの大きさ(たて:13cm以下、よこ:12cm以下、厚さ:3cm以下)



注意

- 以下のようなパンは焼かない。
- バターやジャムなどを塗ったパン。
 - 変形したり、反ったりしているパン。
 - 薄すぎたり、厚すぎるパン。
 - 小さすぎたり、大きすぎるパン。
- 故障の原因になります。

正しい使いかた（つづき）

【冷凍パンを焼くとき】

❏冷凍パンボタンを押す

冷凍保存されたパンを焼くときに❏冷凍パンボタンを押します。

- ・設定した焼き色調節ツマミの調理時間より長く調理されます。
- ※ 冷凍庫から取り出して間もない状態のパンを焼いてください。
- ※ ⑤再加熱ボタンを押したときは、❏冷凍パンボタンを押すことはできません。

【パンを再加熱するとき】

⑤再加熱ボタンを押す

一度焼いたパンをもう一度あたためたいときや、焼き色が薄くてもう少し焼きたいときには⑤再加熱ボタンを押します。

- ・およそ 30 秒間、加熱されます。
- ※ ❏冷凍パンボタンを押したときは、⑤再加熱ボタンを押すことはできません。
- ※ 既にバターやジャムなどを塗ったパンは再加熱しないでください。

4. パンが焼けると、自動でレバーが上がり、電源が切れる

途中でパンを取り出すには、❏キャンセルボタンを押してください。

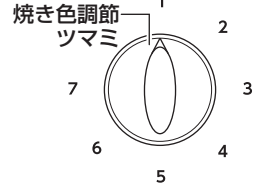
- ・薄いパンや小さいパンを焼くと、焼けたときに飛び出すことがあります。
- ・1枚だけで焼くと、2枚で焼くときより、内側の焼き色が外側の焼き色よりも濃くなります。
- ・パンの焼き色は、パンの種類や大きさなどの影響を受けますので、焼き色ツマミでお好みの焼き色に調節してください。
- ・続けて焼くときは、1分以上待ってから次のパンを焼いてください。

☀加熱中ランプ / ❏キャンセルボタン

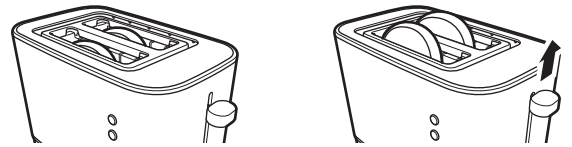


❏冷凍パンボタン

⑤再加熱ボタン



ベーグルなど小さなものを焼いたとき



焼きあがって取り出しにくいときは、レバーをさらに上に上げると庫内のワイヤーが持ち上がり、取り出しやすくなります。

⚠注意

小さすぎるパンは焼かない。
取り出せないときは無理をせず、箸やフォークなどを使用して取り出してください。
やけどの原因になります。

5. 電源プラグをコンセントから抜く

⚠警告

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

6. 本体が完全に冷めてからフタをする

フタをしておくと内部にホコリなど入りやすくなります。

お手入れと保存

⚠警告

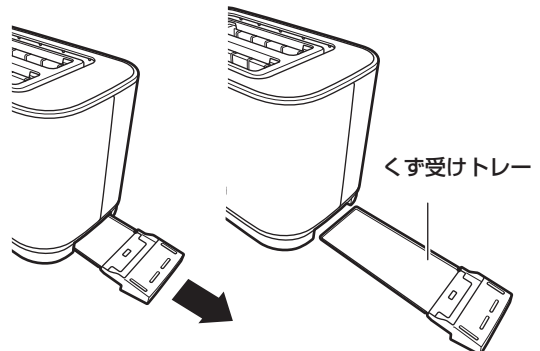
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電やけがの原因になります

お願い

- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体は水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）

くず受けトレイ

本体内蔵のくず受けトレイをはずし、くず受けトレイにたまったパンのくずを捨てます。パンくずがこぼれ落ちますので紙を敷くなどするか、ふきとりができる場所でのお手入れをおすすめします。



⚠警告

くず受けトレイは必ず取り付ける。
火災の原因になります。

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- 必ず必ず受けトレイとフタを取り付けて、直射日光の当たらないところに保存してください。

修理・サービスを依頼する前に



警告

修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
レバーが下で止まらない	<ul style="list-style-type: none"> • 電源プラグをコンセントに取り付けていない • フタをのせたまま加熱して安全装置(温度ヒューズ)が切れた 	<p>電源プラグをコンセントに取り付ける</p> <p>修理が必要ですので、ドウシヤお客様相談室へご連絡ください</p>
レバーが下まで下がらない	<ul style="list-style-type: none"> • 内部にパンの残り・カスがある 	<p>お手入れをしてから使用する</p>
焼き色が濃い	<ul style="list-style-type: none"> • 厚い食パンを使用している • 普通のパンなのに❏冷凍パンボタンを押している • 焼き色調節つまみを濃く設定している • 前回焼いてから続けて焼いている 	<p>焼き色調節つまみを薄く設定する</p> <p>❏冷凍パンボタンを押さない</p> <p>焼き色調節つまみを薄く設定する</p> <p>1分以上使用間隔をあける、焼き色調節つまみを薄く設定する</p>
焼き色が薄い	<ul style="list-style-type: none"> • 焼き色調節つまみを薄く設定している • 調理前のパンなのにⓂ再加熱ボタンを押している 	<p>焼き色調節つまみを濃く設定する</p> <p>Ⓜ再加熱ボタンを押さない</p>
Ⓜ再加熱ボタンが押せない	<ul style="list-style-type: none"> • 既に❏冷凍パンボタンを押している 	<p>一度❏キャンセルボタンを押してからレバーを下げて再度Ⓜ再加熱ボタンを押す</p>
❏冷凍パンボタンが押せない	<ul style="list-style-type: none"> • 既にⓂ再加熱ボタンを押している 	<p>一度❏キャンセルボタンを押してからレバーを下げて再度❏冷凍パンボタンを押す</p>

長年ご使用のポップアップトースターはよく点検を

このような症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシヤお客様相談室に点検をご相談ください。